

「6つの無料化」をスタート

こどもを核としたまちづくりの柱となる6事業を開始。妊娠前から子育て期まで切れ目なく支援し、将来を担う子どもたちの健やかな成長を支え、地域社会の基盤づくりを図ります。

1 不妊治療ペア検査 助成事業

不妊症の早期発見・治療を促進するため、医療保険適用外の検査を夫婦そろって受ける費用を助成します

予算額 88 万円

2 不育症治療 支援事業

流産や死産などを繰り返す「不育症」の検査や治療について、医療保険適用外の治療費などを助成します

予算額 200 万円

3 新生児聴覚検査 推進事業

先天性の聴覚障害を早期に発見し、適切な支援につなぐ新生児聴覚検査にかかる費用を助成します

予算額 260 万円

4 1 か月児健康診査 実施事業

生後1か月頃の赤ちゃんの発育状況を確認するための健康診査にかかる費用を助成します

予算額 387万円

5 中学校給食の 無料化

経済的負担が大きくなる中学生を持つ子育て世帯を応援するため、中学校給食を完全無料化します

予算額 1億4,738万円

6 子育て支援医療費 助成事業

高校生期までの全ての子どもの医療費を完全無料化します

予算額 5億3,385万円

※①～④の詳細は29頁に掲載しています。

組織改正の概要

詳細は市HP(令和7年度組織改正)▶



■ 組織横断的な取り組みの強化

政策課に、複数部署が関わる重要プロジェクトの総合調整を行う係を新設し、迅速に事業を遂行します。

■ 用地取得と公有財産の処分、利活用の円滑な推進

財産管理課を新設。用地の取得や公有財産の処分、利活用などを円滑に行います。

■ 人事の戦略化

人事課を人事戦略課に改称。採用・育成・配置などを戦略的にを行い、組織の生産性を高めていきます。

■ 活力ある地域づくりへの体制強化

協働推進課を地域づくり推進課に改称。地域の実情に応じたまちづくりを展開し、活性化に取り組みます。

■ 農業施策を推進する体制強化

農政部局職員の一部が農業委員会事務局を併任。施策の一体的推進と農業者の利便性向上を図ります。

■ 魅力ある都市づくりの推進

都市政策課を都市デザイン課に改称。都市の活力を生み出し、魅力あるまちを実現していきます。

■ 都市インフラの適正な管理の強化

道路・公園を適正管理する管理課と、新たな公共空間の形成を図る建設課を設置。業務を効率化するとともに、課題やニーズに柔軟に対処できる体制とします。また、上下水道部に経営管理課を新設。企業会計の適正な管理を強化します。

■ スムーズな部活動の地域展開

教育委員会に地域クラブ推進課を新設。8年度の学校部活動の地域展開に向け、体制整備を強力に進めます。

■ 係の設置

原則全ての課に係を設置。職務を明確化し、施策推進の強化や人材育成の環境づくりを図ります。

三田市が目指す4つのまちの姿

三田市を「このまちに住み、生涯にわたって住み続けること」に「希望」を持てるまち、一度離れたとしてもまた戻って来なくなるまちにしていくため、7年度は、次の4つのまちの姿を目指します。

市長提案説明の全文は、市HP「市長の部屋」に掲載しています▶



■ このまちで子どもを産み、育てることができて良かったと思えるまち

子育てに必要な経済的負担を軽減するとともに、子どもの育ちを支える環境づくりを行うことで「子どもを産み、育てることができて良かった」と思えるまちを創りあげていきます。

あわせて、「子どもを産みやすい、育てやすい」まちのイメージを市内外に発信します。

■ 子どもが、大人になってもこのまちなら学びや交流などを通じて成長できると思えるまち

子どもが、どんな状況にあっても、このまちなら生涯にわたって自分らしく生き生きと暮らすことができると思えるまち

■ 子どもにとって、安全かつ安心して生活できるインフラ、家庭・地域・教育・自然環境が整っているまち

心理的・身体的なセーフティーネットが整っていることや、仕事や移動などの生活上の不安が少ないことなど、全ての人がこのまちで自分らしく生き生きと暮らすための環境をしっかりと整えていきます。

社会を担う人材へと成長することにつながります。そのため、生涯を通じて学び、体験することができる場を多く提供していきます。

「こどもを核としたまちづくり」を本格化

- 特集 - 7年度 市政運営方針・組織改正・予算



2月18日、令和7年3月市議会定例会で、田村市長が7年度の市政運営方針を表明しました。「市政運営方針」とは、これからのまちづくりの基本となる考え方や主な

施策を示すものです。今号では、市政運営方針(概要)、7年度に力を入れて取り組む施策と、それに伴う予算についてお知らせします。

令和7年度の主な新規・拡充事業など

※令和7年度に取り組む事業のうち一部を抜粋して掲載

新 新規事業 拡 拡充事業

このまちで子どもを産み、育てることができて良かったと思えるまち

拡 さんだ移住・定住促進アクションプログラム 関連事業 4,615万円

三田のまちを、暮らしやすくいつまでも住み続けられる「魅力あるまち」として市内外に広く周知するとともに、市内の若者の定住や市外からの移住を後押しします。

7年度は新規事業として「お試し居住×保育留学事業」を実施するほか、「住み替え支援補助事業」の市内企業就業者への加算を設けるなどの充実を図ります。

拡 地域クラブの設置・運営支援事業 2,714万円

市立中学校における学校部活動を、8年度中に地域クラブ活動へ円滑に移行するため、地域クラブの備品購入や指導者の確保、スクールバスによる送迎など、環境整備への支援を行います。

新 こども誰でも通園制度プレ事業 366万円

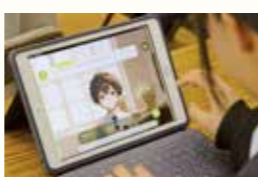
8年度から全国で一斉実施予定の「乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)」について、市内におけるニーズや課題を整理し、スムーズな本格実施につなげるため、試行実施します。

新 市立認定こども園ありまふじ幼稚園の開園 1,485万円

市立幼稚園の再編により、新たに「市立認定こども園ありまふじ幼稚園」が開園するにあたり、運営に必要な通園バスの運行、保育システムの導入などを行います。

新 不登校児童生徒等の支援にかかるAI相談事業 1,300万円

AIチャットなどの対話機能を活用し、人と接することが苦手な不登校児童生徒や、相談しにくい状況にある児童生徒が、気軽に相談したり自分の思いを表現したりする場をつくることで、一人一人に応じた教育相談体制を充実させます。



拡 学校給食費保護者負担軽減事業 1億4,094万円

小中学校・幼稚園の6年度給食費改定増相当分について保護者負担の軽減を継続実施します。さらに、食材購入費の高騰にも対応し、引き続き質の高い学校給食を提供します。



子どもが、大人になってもこのまちなら学びや交流などを通じて成長できると思えるまち

拡 ファミリースポーツカーニバル(チャレンジデー)開催事業 20万円

誰もが気軽に参加できるスポーツ体験イベントを地域単位で開催し、スポーツや運動を行う機会をつくることで、健康・体力づくりを推進します。



拡 医療人材育成事業 400万円

中学・高校生向けに「未来の医療」についての講演会などを実施し、医療への興味・関心を高めます。さらに、興味・関心を持った職種への理解を深める体験ツアーにより、医療関係の職業を志す学生を増やし、将来の医療人材の育成・確保につなげます。



子どもが、どんな状況にあっても、このまちなら生涯にわたって自分らしく生き生きと暮らすことができると思えるまち

新 带状疱疹ワクチン定期接種事業・任意接種費助成事業 2,276万円

80歳までに約3人に1人が発症する带状疱疹に対し、定期接種や任意接種費助成を行い、発症や重症化予防を図ります。

拡 ふるさと納税の推進 2億4,891万円

ふるさと納税応援事業者との連携により「返礼品の魅力向上」「新たな返礼品の開発」などに取り組むことで、寄附額の拡大や市内産業の振興、市のプロモーションの充実を図ります。(うち1億6,173万円は返礼品代)

※7年度ふるさと納税による寄附額は5億円を見込んでいます。

新 市内産肥育*素牛導入支援事業 150万円

市のブランド牛である「三田牛」の肥育農家の素牛導入を支援することで、高品質な牛肉の生産を推進し、畜産経営の安定化を図ります。



*肥育…購入した仔牛(素牛)を肉用牛として育てること

拡 次世代モビリティ推進事業 670万円

フラワータウンで、グリーンスローモビリティ*を活用し、安心して移動できるまちを目指します。



*時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービス

子どもにとって、安全かつ安心して生活できるインフラ、家庭・地域・教育・自然環境が整っているまち

新 新ごみ処理施設整備事業 11億69万円

経済性に優れ、周辺環境負荷を最小化する新ごみ処理施設の整備を進めます。

新 幼稚園・小中学校施設改修事業 13億8,735万円

園・校舎の大規模改修工事やエレベーター設置を行うことで、安全・安心で質の高い学校園生活を確保し、教育環境の充実を図ります。

新 三田駅前Cブロック地区推進事業 25億7,648万円

三田駅前Cブロック地区市街地再開発事業にかかる道路整備工事、施設建築物本体工事などを実施する施行者に対して、負担金や補助金を交付します。



拡 道路・都市公園等植栽管理事業 3億7,001万円

主要道路での除草回数を増やし、都市公園などの除草・剪定を適切に行うことで、緑豊かで美しい景観を維持します。また、公園や緑地での枯木などの伐採や、越境した樹木の剪定など、植栽の適正な管理を図り、安全を確保します。

拡 小学校防犯カメラ設置事業 920万円

小学校の昇降口に防犯カメラを増設し、防犯体制の強化を図ります。

新 窓口改革推進事業 5,527万円

デジタル技術を活用し、「書かない」「待たない」「迷わない」窓口サービスを実現することで、来庁者の利便性の向上と、職員の業務効率向上に取り組めます。

令和7年度 予算の概要



◀ 予算の詳細は
市ホームページで公開

一般会計予算 **471** 億 3,500 万円 (対前年度比 7.7%増)

全会計予算 **912** 億 1,513 万円 (対前年度比 4.9%増)



■ 会計別予算

会計	6年度 予算額	7年度 予算額	増減金額	増減率	
一般会計	437.7 億円	471.4 億円	33.6 億円	7.7 %	教育・福祉や道路・公園の整備など、市の基本的な行政サービスを行う会計
特別会計	220.1 億円	225.2 億円	5.1 億円	2.3 %	国民健康保険など特定の収入があり、使い道が決まっている会計
企業会計	212.1 億円	215.6 億円	3.5 億円	1.7 %	民間企業のように利用料金などの収益で運営している事業
総計	869.9 億円	912.2 億円	42.2 億円	4.9 %	-



－ 7年度予算の概要 －

【歳入】賃金上昇や定額減税の回復による個人市民税の増、収益上昇による法人市民税の増など、市税では12.9億円増加の約185億円を見込み、一般財源全体では大きな増収を見込んでいます。

【歳出】新ごみ処理施設整備事業費の8億円増や三田駅前Cブロック地区再開発事業費の17.6億円増、制度改正に伴う児童手当給付事業費の7.6億円増などにより、投資的経費や扶助費の増加が見込まれます。

※企業会計は収益的支出と資本的支出の合計です(詳細は下表)。

※数字は全て端数処理しています。

■ 企業会計予算

会計	市民病院事業		水道事業		下水道事業	
	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支
収入	100.7 億円	13.5 億円	29.3 億円	12.3 億円	31.9 億円	9.2 億円
支出	105.0 億円	16.0 億円	28.1 億円	17.4 億円	31.8 億円	17.3 億円
差引	△ 4.3 億円	△ 2.5 億円	1.2 億円	△ 5.1 億円	0.1 億円	△ 8.1 億円

収益的収支：水道料金や下水道使用料、医療行為などの収入と人件費や施設維持費などの支出による営業活動の収支

資本的収支：水道や下水道、病院施設の建設や機器の更新を中心とした収支。収支不足の場合は、内部留保資金等で補てん

市民病院事業会計

医師・看護師などの医療人材の確保により、安全で良質な急性期医療を安定的・継続的に提供できるよう努めるとともに、地域医療の核となる新病院への準備を進めます。

水道事業会計

安全で良質な水道水を安定して供給するため、施設の更新などを計画的に進めていきます。また、災害などに備え、広域的な連携のもと、迅速な危機対応ができる体制づくりに取り組めます。

下水道事業会計

快適な生活環境を確保するため、施設の更新を計画的に進めていきます。また災害への備えとして、マンホールトイレの整備を進めます。今後も効率的な経営と施設の適正管理に努めます。